

担い手通信 第3号

【令和6年度】
令和6年12月発行

浜松市担い手育成総合支援協議会事務局 浜松市農業振興課

農業分野における環境負荷低減の取組について

地球温暖化による気候変動や大規模自然災害の増加を受けて、現在、世界中で環境負荷低減の取組が進んでいます。農業分野においても、農林水産省が2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定し、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立に取り組んでいます。

2024年度からは「みどりチェック（環境負荷低減のクロスコンプライアンス）」が導入され、農林水産省の各種補助事業において環境負荷低減の取組が要件化されました。

〈別添：「みどりチェック」に取り組みましょう！〉

取り組むにあたっては、「なぜ環境負荷低減が必要か」・「農業分野でできる取組は何か」などの正しい知識と理解が必要です。情報を得るための場として、下記により説明等を希望することができますので、必要な方（団体）は連絡先までご相談ください。

〈説明者等〉

説明者：農林水産省職員

対象：農業者の団体又は農業関係組織

※既存団体である必要はなく、一定数の参加者を求めるものです。

〈農林水産省HP〉
環境負荷低減の
クロスコンプライアンス



【連絡先】

浜松市産業部 農業振興課 電話053-457-2331

浜松市産業部 農業水産課 電話053-457-2333

農作業で堆肥を使用される方へのお願い

農地におかれた堆肥について、市民の方から市役所へ多数の相談が寄せられています。

堆肥の臭いを完全に無くすことは困難ですが、近隣住民との良好な関係を保てるよう、農地で堆肥を活用する際は以下の点に配慮をお願いします。

- ・堆肥を散布することを、事前に近隣の方へお知らせする。
- ・できるだけ完熟した堆肥を使用する（畜産農家は未熟な堆肥を供給しない）。
- ・農地に堆肥を降ろすときは、できるだけ住宅から離れた場所にする。
- ・堆肥を降ろした後は、速やかに鋤きこむ。
- ・風や雨に注意し、臭いの発生や堆肥の流出による近隣の方への影響を極力減らす。
- ・道路を汚した場合には清掃する。

令和6年度New浜名湖アグリフォーラム開催のお知らせ

令和6年度のテーマは、“農業経営における改善の取組「目標達成のための一手」”です。

農業資材の高騰、豪雨、夏の高温など農業現場は様々な問題と格闘しています。このような中で農業経営をしていくためには、日々の課題を「カイゼン」し、乗り越えていく工夫が必要です。

そうした工夫を参加者で共有し、地域農業を盛り上げていきましょう。
皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時 令和7年2月26日（水） 午後1時～4時（予定）
- 会 場 なゆた・浜北 3階 大会議室（浜松市浜名区貴布祢 3000 番地）
- 主 催 New 浜名湖アグリフォーラム実行委員会
（事務局：静岡県西部農林事務所：TEL 458-7219）
- 共 催 静岡県西部農林事務所、浜松市
- 内 容 ①令和6年度改善事例の報告
「目標達成のための一手」（アグリフォーラム実行委員会）
②経営改善の専門家による講義
講師：宮口 巧（株式会社イワサキ経営） ※（予定）
- 詳 細 詳細や参加申込は1月上旬に下記ホームページで公開します。
<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/seibunorin/1004222/1047866.html>
- 参集者 西部地域等の農業者、商工業者、関係機関 100名程度

New浜名湖アグリフォーラム



「New浜名湖アグリフォーラム」とは

本フォーラムは、農に関わる者が一堂に会し、より良き未来のために夢や希望を語り合い、互いに学び育て合うことで、新たな可能性を発見していくことを目的に、年1回開催しています。

フォーラム実行委員会は、西部地域（浜松市・湖西市）の若手を中心とした農業者の組織です。

【浜松市農業経営塾】

数字が理解できるようになるマネジメントゲーム研修 参加者募集

利益が出る仕組みを知りたい農家の方、必見です。

農業者の方を対象に『数字が理解できるようになる マネジメントゲーム研修』を開催します。「マネジメントゲーム」とは、参加者ひとりひとりが社長となり会社を経営する、体験型経営戦略シミュレーションゲームです。

以下のようなお困りごとがある方は、ぜひご参加ください。

- 販売価格をなんとなく決めている。
- 決算書の見るべき数字や目標値が分からず、財務状況を経営計画に活かしていない。
- 利益を出すために、単価を上げるべきか、生産量を増やせばいいのかわからない。

日 時 令和7年3月3日(月) 午前9時～午後5時

対象者 農業者(市内在住または市内で営農している農業者やその後継者、従業員等) 経営や会計のことがわからなくてもご参加いただけます。

参加費 無料

会 場 浜松市役所

詳 細 詳細や参加申込は下記ホームページ又は
右QRコードでご確認ください。



<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/nousei/portal/keiejukuseminar.html>

【問い合わせ先】

浜松市産業部 農業水産課 農業政策グループ 担当：石津谷、岩田
〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2 (浜松市役所 本館6階)
電話：053-457-2334
E-mail：nousui@city.hamamatsu.shizuoka.jp

「ユニバーサル農業 20 周年記念シンポジウム in はままつ」 が開催されます

本市がユニバーサル農業の取組を開始してから 20 周年を迎えたことを記念して、「農業と福祉の世界会議」をテーマとした全国規模のシンポジウムを開催します。参加者については、現在募集中です。内容の詳細については浜松市ホームページをご確認ください。

<1 日目：シンポジウム>

開催日時：令和 7 年 1 月 30 日（木）午前 10 時 30 分～午後 4 時 30 分
（終了後に意見交換会を実施）

開催場所：アクトシティ浜松 コングレスセンター4 階 41 会議室

参加費：無料（意見交換会は、別途参加費として 1500 円が必要です。）

<2 日目：スタディツアー>

開催日時：令和 7 年 1 月 31 日（金）午前 9 時～午後 3 時

内容：市内でユニバーサル農業に取り組む関係先を視察

視察先：京丸園株式会社、ひらまつファーム、株式会社浜松ホトアグリ

参加費：4,000 円（昼食込）

定員：40 名（申込先着順）



浜松市 HP

【問い合わせ先】

浜松市産業部 農業水産課 企画調整グループ

担当：木下（きのした） 電話 053-457-2333

農作業をする方へのお願い

農地から流出する土砂について、側溝等に土砂が溜まり、大雨の際に道路が滞水する等市民の方から市役所へ多数の相談が寄せられています。

農作業をする際は、以下の点に配慮してください。

- 農地に土留め等を設置し、側溝や道路に土砂が流出しないようにする。
- 農業用機械の移動の際や農作業後に、側溝や道路に土が残らないようにする。
- 大雨時等は特に土砂の流出に注意し、近隣の方への影響を極力減らす。

野焼きのけむりで困っている人がいます！！



野焼きの苦情の件数は年々増加しており、2023年は170件以上の苦情が浜松市へ寄せられました。**野焼きは、屋外で行う焼却行為のことを指し、法律では原則禁止の行為**です。

農業を営むためのやむを得ない草木等の焼却（灰の利用や害虫駆除を目的とした焼却など）は禁止の例外となっていますが、周辺的生活環境に迷惑とならないよう配慮(※)することが大切です。苦情があれば、悪臭防止法や静岡県条例に基づき、中止の指導をすることもあります。

※配慮とは次のような行為です。

- ・ 農業用の灰作りは、必要最小限にする。焼却時は、火元を離れない。
- ・ 風の強い日や風が民家へ向いている日は避ける。洗濯物を干している時間帯は避ける。
- ・ 近所へひと声かける。 など

《問い合わせ先》

浜松市環境部 環境保全課 大気・騒音対策グループ
〒432-8023 浜松市中央区鴨江三丁目1番10号
TEL 053-453-6170

新体制スタート！！浜松市農業委員会（令和6年7月～令和9年6月）

地域農業の未来を担う新体制が始動。持続可能な農業と地域振興を推進して浜松の農業をさらに発展させていきます。

会長 後藤 剛 三ヶ日地区
副会長 水崎 久司 春野地区
幹事長 森島 倫生 中瀬・赤佐・鹿玉地区

【農業委員氏名・地区】

氏名	地区	氏名	地区
岡野 慶春	蒲・和田・長上	岡本 純	都田
松島 好則	中ノ町・笠井	幹事 山中 秀三	細江
青木 俊博	積志	安間 利和	引佐
谷野 哲生	入野・富塚・和合・神久呂・雄踏	平野 和重	浜名・北浜
幹事 江間 栄作	湖東・花川	鈴木 英雄	天竜・龍山
中嶋 宗一	庄内	森下 孝雄	佐久間・水窪
鈴木 満彦	篠原・舞阪	鈴木 緑	地区を持たない委員
幹事 足立 侑律	芳川・飯田	伊藤 安子	中立委員
幹事 袴田 博子	河輪・五島・白脇	幹事 鈴木 要	
島 英雄	新津・可美・江西	高林 美智代	
内山 進吾	三方原		